

## 【会議記録】

## 第2回一宮市部活動地域移行検討協議会

日時	令和5年2月20日（月）14時30分～16時00分
場所	一宮市役所本庁舎 1101会議室
出席者	委員12名（鈴木、春日井、土川、長谷川、小島、町田、五藤、芳賀、江藤、伊藤、藤原、野中）

### 1 開会のことば

### 2 一宮市教育委員会あいさつ（教育長）

### 3 議事

#### (1) 保護者・教職員アンケート調査の結果について

○ 保護者・教職員アンケートについて事務局から以下のように提案があった。

- ・保護者アンケートで休日地域クラブ活動への「参加を希望する」または「どちらかといえば希望する」の回答の合計は、40%である。「分からない」は30%である。
- ・教職員アンケートで「休日の指導者を希望する」の回答は12%、「分からない」の回答は9%である。指導を希望する教職員の12%を人数にすると150人程度となる。
- ・1つの地域クラブに35人在籍したと仮定すると、約200の地域クラブが必要となる。1つの地域クラブを複数人体制で整備すると考えると、約400人の指導者をお願いする必要がある。

#### (2) 休日地域クラブ活動の全体像（案）について

#### (3) 休日地域クラブ活動ロードマップ（案）について

○ 休日地域クラブ活動の全体像（案）と休日地域クラブ活動ロードマップ（案）について事務局から提案があった。

- ・民間事業者に事務局業務を委託することで、指導者となる方の事務的な負担を減らし、指導に専念できると考えている。
  - ・現在の活動している団体には、中学生の受入れの依頼や受入れ人数を増やすことをお願いしたい。
  - ・部活動外部指導者の方が指導者となる形や、保護者や地域の方同士で自分の子や地域の子の指導を希望される方をお願いする形を考えている。
  - ・参加する地域クラブや団体には、必要に応じて学校施設を使用できるようにする。
  - ・個人で指導者希望の登録ができるように人材バンクをつくり、事務局がマッチングをする。
  - ・部活動外部指導者は令和4年度60人、令和5年度70人、令和6年度100人と増やしたい。
- 現状は参加希望の子どもたちが7000人で約300の部活動がいるという規模で考えていて、指導する人材が確保できない、場所も確保できないという感覚でいる。実際の規模を把握し、それをもとに考えていく必要がある。
- 保護者アンケートは行ったが、子どもたちへアンケートを行ってはいない。小6、中1、中2にアンケートをとり、子どもたちの声をしっかりと把握する必要があるのではないかな。
- 子どもたちに休日部活動がなくなり自由参加になるが地域クラブに参加するかと聞くと「忙しいからやらない」という答えが返ってくる。参加したい子もお金がかかることが分かるとやめるとか、まだわからず迷っている子が多い。丁寧に子どもたちに伝えていく必要がある。
- 各競技の連盟としては、地域クラブ活動を作ればよいのか、人数が集まれば指導するという方法なのか、総合型地域スポーツクラブのような団体を作るのか、どのように進めていけばよいのか迷っている。
- これまでは基本的に、部活動は全員参加となっていたが、今後は、全員部活動に所属しなくてもよい流れになる。
- この協議会で、まずは、休日部活動の地域移行を中心に考えていく必要がある。
- 民間事業者については、今すぐに事務局として入っていただくのは難しいと感じており、少し先の話ではないかと感じている。
- 子どもたちに、大人も部活動の地域移行について一生懸命考えていることを伝えていき、保護者にも伝えたいと考える。機会があるごとに、地域移行の進み具合を発信していくことが重要である。
- 教員に地域クラブの指導者になるために管理職として兼職兼業を許可できるかということ、勤務時間を60時間を超過したら許可はできないという国からの通達があり、難しいのではないかな。

#### (4) その他

- ・特になし

### 4 一宮市教育委員会あいさつ（教育部次長）

### 5 閉会のことば